



# MSDS

## 製品安全データシート

製品名 PS-1KS  
低セタンディーゼル燃料用液体触媒

会社名 株式会社エコアドバンスジャパン

住所 〒123-0853  
東京都足立区本木 1-1-13

電話番号 03-3880-6628

FAX 番号 03-3886-1899

作成・改訂年月日：2015年10月20日

物質の特定	単一製品・混合物の区別……混合物
化学名	H2O 5%
	Isopropil Alcohol 4%以上
	Fe 0.1%未満
	TiO2 1%未満
	P 0.1%未満
	Si 1%未満
	Al 0.1%未満
	Mn 0.1%未満
	その他遷移金属 0.01%未満
	CAS 67-63-0
	2-エチルヘキシル硝酸エステル 65%
	CAS-27247-96-7
	ディーゼル燃料 25%
	CAS-8008-20-6

UN Pack Group III

UN Haz Class 3

官報公示整理番号	化審法	: 適合
	海外化学品規制	米国 (TSCA) : 適合
		欧州 (EINECS) : 適合
		カナダ (DSL) : 適合

豪州 (AICS)	: 適合
韓国 (KECL)	: 適合
比国 (PICCS)	: 適合
中国	: 適合

危険有害性の分類	分類の名称	引火性液体
	危険性	製品蒸気は空気より重く、低所に停留して爆発性混合ガスを作ることがある。100℃以上に加熱すると、発熱を伴う分解反応が起き、温度と圧力が急上昇する。
	有害性	眼や皮膚を刺激する。
応急処置	眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗顔し、医師の診察を受ける。
	皮膚に付着した場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い、汚染された衣服を脱がせる。医師の診療を受ける。
	吸入した場合	空気のきれいな場所へ移動させる。呼吸停止の場合は、人工呼吸を行う。呼吸が困難な場合は酸素を与える。直ちに医師の診療を受ける。
	誤飲した場合	無理に吐かせぬこと。意識があればコップ 2 杯の水を飲ませる。意識がない場合は口から物を与えてはならない。直ちに医師の診療を受ける。
火災時の処置	消火方法	加圧タイプの自給式空気呼吸器を装着し、風上に位置して消火作業を行う。 100℃以上に加熱された場合の発熱分解を防止するため貯蔵容器を多量の水噴霧により冷却する。
	消火器	粉末消火器、泡消火器、炭酸ガス消火器、水(噴霧)
	(参考) 有害熱分解生成物	CO, CO2, NOX, 熱分解生成物
漏洩時の処置	(1) 緊急連絡を行う。火気を遠ざける。適切な保護具を着用する。 (2) 土壌などで困って周囲への拡散、排水への流入を防ぐ。	

- (3) 漏洩した液は、空の容器に回収する。
- (4) 回収できない液は、ウエスなどに吸収し、焼却する。

取扱い及び保管上の注意 火気厳禁、消防法の基準に従って管理する。  
換気の効いた涼しい場所に密栓して保管する。  
下記の暴露防止装置に従って取り扱う。

引火点が低いので、常温で取り扱う。

静電気によるスパークを防ぐため除電に配慮する。

本製品の取扱設備（容器、ライン、ポンプ等）は加熱源から隔離し、スチームトレース等は施さぬこと。

ポンプで移送する時は、必ずラインのバルブを〈開〉にした後ポンプを始動する（〈開〉の状態では、加圧によりポンプ内の製品が加熱により急速に分解され、ポンプが破裂、引火することがある）。

暴露防止装置	許容密度	TWA 1ppm（1日8時間、1週40時間：エチル推奨基準）
	換気/排気	<u>局所排気—浮遊蒸気濃度を許容濃度未満に保つため必要である。</u> 全体換気—あれば望ましい。
	保護具 呼吸器	許容濃度を超す恐れがある場合は、適切な保護具を使用する。
	眼	安全メガネ（ゴーグルタイプが望ましい）、あるいは顔面シールド。
	皮膚	不浸透性の手袋
	その他	皮膚や衣服に接触する機会が多いばあいは、保護服を着用する。

物理/化学的性質	外観等	淡黄色液体	沸点	データなし
	比重	0.91 (15.6℃)	融点	データなし
	粘度	1.21 cSt (40℃)	蒸気圧	1.7 mmHg

溶解度	冷水	不溶
	鉱油	可溶
	石油系溶剤	
	その他	有機溶剤に可溶

危険性情報（安全性引火点/反応性）	密封式：61℃
反応	安全性 一安定 但し、100℃以上で不安定
	接触禁止物質 強酸化剤、強還元剤
	回避すべき条件 高温、スパーク、裸火

毒性情報	眼に入った場合	刺激を与えることがある。
	皮膚に付着した場合	刺激を与えることがある。有害である。
	吸入した場合	有害である。
	誤飲した場合	有害である。肺に入ると損傷を起こす。
	有害な影響	蒸気の吸入や皮膚接触により過度に曝露された場合、頭痛、めまい、吐き気、血圧低下を引き起こすことがある。

環境影響情報	アルキル硝酸エステルは海洋汚染防止法のB類物質、環境御有害物質に分類されている。
--------	--

廃棄上の注意	焼却処分が望ましい。但し、本品の焼却は液体噴霧ノズルを有する設備で噴霧燃焼させる。
--------	---

輸送上の注意	容器の破損を防止し、雨水のかからぬよう配慮して取り扱う。
--------	------------------------------

消防法	危険物第4類第2石油類 (危険等級：Ⅲ、非水溶性)
-----	------------------------------

水質汚濁防止法	n-ヘキサン抽出物（鉱油類）
---------	----------------

労働安全衛生法	ディーゼル燃料
---------	---------

通知対象物質

表示物質	該当せず
------	------

有機溶剤中毒予防規則	該当せず
------------	------

特定化学物質等予防規則	該当せず
-------------	------

毒物劇物取締法	該当せず
---------	------

PRTTR法	該当せず
--------	------

(海洋汚染防止条約)	B類物質、環境有害物質)
------------	--------------

この製品安全データシートは、正確を期した情報に基づいていますが、その精度や完璧さを保証するものではありません。本製品の使用に際してはその用途に応じて関係法令や規則への適合、ならびに安全な取り扱いにご配慮をお願いします。